

意見交換
テーマ

公共施設の老朽化対策等について

1 趣旨

地方自治体は、高度経済成長期を中心とした人口増加を背景に、道路や下水道などの土木関連施設とともに、小・中学校、市営住宅等、多くの公共施設を整備してきたが、老朽化の進行により、近い将来、多くの施設が一斉に改修・更新時期を迎える。

これら公共施設の改修・更新には多額の費用を要するが、少子高齢化などの進展により、社会保障費が増加する一方で、税金などの歳入の伸びが期待できない中では、これまでと同様に財源を確保し、公共施設へ投資・支出していくことは困難になることが想定される。

また、このような公共施設の適切な維持管理や老朽化した公共施設の改修・更新への対応とともに、少子高齢化等による人口の年齢構成の変化などへの対応も求められており、いわゆるハコモノについては、既存施設の用途変更や廃止などを含め、地域の実情に応じた施設の利活用なども課題となる。

2 提案

土木関連施設や土木関連施設以外のハコモノなどを含めた公共施設の老朽化対策、ハコモノの適正配置を進めるための住民の合意形成、運営コスト削減などの取組について情報を共有し、課題等に対する理解を深めるとともに、課題の解決に向け、検討する場を設けることを提案する。